

主催：
日本学術会議 情報学委員会・心理学・教育学委員会合同
教育データ利活用分科会

2021年 10月17日

公開シンポジウム
教育データの利活用の動向と社会への展開

開会あいさつ

京都大学大学院教育学研究科
楠見 孝

「教育データの利活用の動向と社会への展開」 シンポの目的

提言

- 提言の取りまとめにおいて問題になった点の議論を深める
 - 教育データの収集方法（ラーニングアナリティクスなど）
 - 収集したデータの管理
 - 教育データを共有するときの個人情報の匿名化
 - 共有されたデータの使用方法（教育実践，研究，政策）など
- 提言発出後の1年間，コロナ禍におけるGIGAスクール構想，**教育データ利活用による教育DX**の展開
- **ポストコロナ時代**に向けて，教育データの収集と分析に関わる
 - 政策の立案推進に関わる行政の関係者
 - 教育，情報分野の研究者
 - 小中学校で実践を進めている先生方などが参加して，教育データの利活用における課題や今後の方向性について議論する

教育のデジタル化を踏まえた
学習データの利活用に関する提言
—エビデンスに基づく教育に向けて—



令和2年（2020年）9月30日

日本学術会議

心理学・教育学委員会・情報学委員会合同

教育データ利活用分科会

基調講演

- 美濃導彦（日本学術会議第三部会員、教育データ利活用分科会委員長、国立研究開発法人理化学研究所理事）
- 浅野大介氏
（経済産業省商務・サービスグループ サービス政策課長・教育産業室長、デジタル庁統括官付参事官）
- 桐生 崇氏
（文部科学省大臣官房文部科学戦略官・総合教育政策局教育DX推進室長）
- 白水 始氏
（国立教育政策研究所 総括研究官）
- 吉田 文氏
（早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授）
- 休憩

研究事例紹介

- 福本 巧氏（神戸大学大学院医学研究科教授）
- 隅谷孝洋氏（広島大学 情報メディア教育研究センター教授）
- 桑名良幸氏（京都教育大学付属桃山小学校副校長）
- 藤井真仁氏（埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課主任指導主事）

パネル討論

- モデレータ：

柴山悦哉（日本学術会議連携会員、教育データ利活用分科会幹事、東京大学情報基盤センター教授）

- パネリスト：

- 江村克己（日本学術会議 連携会員、日本電気株式会社NECフェロー）

- 中山 迅（日本学術会議 連携会員、宮崎大学大学院教育学研究科教授）

- 前田香織（日本学術会議 連携会員、広島市立大学大学院情報科学研究科教授）

- 宮地充子（日本学術会議第三部会員、大阪大学大学院工学研究科教授、北陸先端科学技術大学院大学教授）

- 全体討論

- 閉会の挨拶

谷口倫一郎（日本学術会議第三部会員、教育データ利活用分科会幹事、九州大学理事・副学長）